



今月のズームアップ

福山の農産物使ったあめを 中高生のイラスト添え発売

福山市の特産品や名所にちなんだあめのセット「備後ふるさと便～オリーブの宝石箱～」が3月から発売され、好調な売れ行きを見せています。

企画したのは、砂糖や小麦粉など製菓原料の卸と小売業を営む、同市の中島商店の中島基晴専務（39）。あめは、イチゴ、スモモ、ブドウ、アンズ、自然薯のあめなど9種類で、中島専務は、農家に足繁く出向いて果実などを入手しました。

色とりどりのあめのセットには、特産品と名所のイラストが入った市のマップが添えられます。イラストは、広島大学附属福山中・高等学校の生徒たちが描いたもので、共同開発を記念し、同校の校章であるオリーブを商品名に取り入れました。

中島専務は「今後もいろいろな菓子で特産品を表現しながら、農家を応援したい」と目を輝かせています。

あめは1袋140g入りで、詰め合わせが2500円。ばら売りもあり、鞆町の「ともてつバスセンター」と、御船町の中島商店で販売しています。



天然果汁を使ったあめと、特産・観光マップを手にする中島専務